平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語6(Japanese6)		授業コ	ード	A023501
担当教員名	清田芳弘		科目ナン グコード		
配当学年	3年留学生	開講期	前期集中		
必修·選択区分	選択	単位数	1		
履修上の注意また は履修条件	3年生以上の留学生が対象。「日本語 受講してください。	5」との集中講義で実	施しますので、「E	日本語5	う」も合わせて
受講心得	毎回、次の回の教材を配布しますので	き、必ず読んできてくた	ごさい 。		
教科書	プリント教材				
参考文献及び指定 図書	・グループジャマシイ編 『教師と学習: ・浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 『 版)				くろしお出
関連科目	日本語1、日本語2、日本語3、日本語4	4、日本語6			

授業の目的	さまざまなテーマの文章を読むことで、幅広い話題に対応できる語彙力、表現力を養成する。
授業の概要	毎回、違うテーマの文章を読んで、内容を把握し、まとめる作業を通して、語彙力を高めるとともに、テーマについての自分の考えを書いたり、話したりできるようになることを目指します。また、日本語能力試験N1レベルの語彙についても勉強します。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週 : 講義計画の説明および日本語力の確認	
第2週 : テーマ1 政治・経済①	
第3週 :	配布資料
テーマ1 政治・経済②	学習課題の時間 60分
第4週 :	配布資料
テーマ2 歴史・文化①	学習課題の時間 60分
第5週:	配布資料
テーマ2 歴史·文化②	学習課題の時間 60分
第6週:	配布資料
テーマ2 歴史·文化③	学習課題の時間 60分
第7週:	配布資料
テーマ3 科学①	学習課題の時間 60分
第8週 : テーマ3 科学② 	配布資料 学習課題の時間 60分
第9週:	配布資料
テーマ4 日本の技術	学習課題の時間 60分
第 10 週 :	配布資料
テーマ5 情報・インターネット	学習課題の時間 60分

第11週:				
			配布資料	
			学習課題の時間	60分
第12週:				
テーマ7 環境			配布資料	
	7 7 797.50			60分
第13週:				
テーマ8 働く			配布資料	
			学習課題の時間	60分
第14週:				
テーマ9 知的技術	\bigcirc		配布資料	
7			学習課題の時間	60分
第15週:				
テーマ9 知的技術②			 配布資料	
, , o variation			学習課題の時間	60分
第16週:期末試験	1			
期末試験				
761717170137				
	(1)授業の形式	「演習等形式」	<u> </u>	
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式			
	(3)アクティブ・ラーニング			
	毎回、最初に語彙の問題演習を行いる	ます。		
備考	その後、課題の文章を読み、①内容の把握→②音読→③要約を行います。			
	授業の最後には、要約したものを提出	してもらいます。		

○単位を修得するカ	○単位を修得するために達成すべき到達目標			
【関心·意欲·態 度】	①身近な話題から社会的な話題まで、さまざまなテーマについて自分なりの解釈ができ、自分の 意見を持つこと。			
【知識·理解】	②資料の内容を速く、的確に把握できるようになること。 ③読み取った内容を簡単な言葉でまとめることができるようになること。			
【技能・表現・コミュニ ケーション】	④授業で扱ったテーマについて、自分の考えを話すことができるようになること。			
【思考·判断·創 造】	⑤各テーマをめぐる意見に賛成か反対か、理由とともに述べることができること。			

〇成績評価基準(合計100点) 合計欄				100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)		その他 成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	80点	10点	10	点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	

レポート・作品等 (提出物)	原則として、毎回、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
	[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
	2~3人のグループごとに、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。
発表・その他 (無形成果)	[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。